



2022-23 学年度日越大学入学式を開催しました

2022年10月15日（土）に、ベトナム国家大学ハノイ校グエンヴァンダオホールにて2022-23学年度日越大学入学式が執り行われ、200名を超える新入生が参加しました。式典には山田滝雄駐ベトナム日本国特命全権大使、武部勤日越友好議員連盟特別顧問、Nguyen Hieu 副総長（ハノイ国家大学）をはじめ、多くの来賓が出席されました。古田元夫学長は、「教育理念であるリベラルアーツは学生一人ひとりの個性を尊重する教育であり、日越大学での学びを通し、思考の主体性と自律性、自由な創造の精神、深い自己探求を身に着けていってほしい。」と述べました。また、新入生代表の Le Ha さん（学部日本学プログラム）は「日越大学で理論と実践を学び、自身のスキルや知識を向上させ、より多くの目標を達成するために努力していきたい。」と述べ、Nguyen My Dung さん（修士課程企業管理プログラム）は、「これからの2年間の道のは決して平坦ではないかもしれないが、『自身を成長させたい』という強い想いを持ち、コンフォートゾーンから飛び出すことでより良い自分になっていきたい。」と述べました。

今月号の内容

日越大学入学式を開催

JICA チェア
「日本の戦後外交」に関する講義を実施

北見工業大学と
学術協力協定を締結

Real Voice
吉田 洋能さん
(修士課程地域研究プログラム修了生)

新たに2つの学部
プログラムを開設
-シビルエンジニアリング
-スマート農業とサステナビリティ

▶ JICA チェア「日本の戦後外交」に関する講義を実施しました

JICA は、2020 年より日本の開発経験を学ぶ機会を広げるため、開発途上国各国のトップクラスの大学等を対象に、「日本研究」の講座支援を行うプログラム「JICA チェア」を実施しています。このプログラムの一環で、10月13日に日越大学にて、元駐英日本国全権大使である鶴岡公二氏より「日本の戦後外交」に関する講義をいただきました。講義は、日本が敗戦した後どのように国際社会へ復帰していったのか、平和条約による戦後処理はどのようなものであったのか、といった内容から始まり、日本の近代の歴史、日本の外交、国際社会における日本の役割等について触れられました。参加した学生からは、日本の米軍駐留の更新に係る日本のスタンスに関する質問等がなされ、学生たちにとって、日本の開発経験について理解を深める貴重な機会となりました。



(鶴岡公二氏による講義)



(学生の様子)

▶ 北見工業大学と学術協力協定を締結しました

10月15日、日越大学は北見工業大学と学術協力協定を締結し、日越大学ミーディンキャンパスにて協定署名式が実施されました。北見工業大学は、北海道北東部の北見市にある国立大学で、スマート農業や寒冷地防災、冬季スポーツなど地域に根差した特色ある研究が行われ、約2000人の学生が学部や大学院で学んでいます。協定署名式に出席された北見工業大学鈴木聡一郎学長からは「様々な社会問題に対し、共に向き合い解決することで、それぞれの国内のみならず国際社会への貢献にもつなげていきたい」とご挨拶をいただきました。日越大学は、本協定のもと、教育・研究分野において学生及び教職員の交流を促進して参ります。



(集合写真)



(左：古田学長、右：鈴木学長)

Real Voice

－ 吉田 洋能さん (修士課程地域研究プログラム修了生)

2022年7月に日越大学修士課程地域研究プログラムを修了し、現在は日越大学の教員として働いている吉田さんに、日越大学への進学理由や学生生活、現在の仕事等についてお話をうかがいました。

－日越大学に進学を決めた理由は何ですか？

2018～2020年に、ベトナムで日本語教師をしていたことがきっかけです。もともと、「アカデミックな環境で仕事をしたい」と思っていましたし、日本語教育の中でキャリアを築いていくために、大学院進学を検討するのは自然な流れでした。実は、大学院進学先は日本国内で、と思っていたのですが、ふと日越大学の存在を思い出し問い合わせをしてみたのがきっかけです。自身の研究動機はベトナムでの経験がもとになっているため、ベトナムというフィールドで研究ができること、英語で授業が受けられること、サステイナビリティ学を学べるのが魅力的でした。

－日越大学での学生生活はいかがでしたか？

コロナパンデミックと在学期間が重なり、ほとんどがオンラインでの授業でした。しかし、クラスメイトと多くの議論を交わしていくうちに、オンライン授業だということを忘れるくらい親密な関係を築けたと思っています。また何より、日越大学で尊敬できる先生方に出会えたことが貴重な財産になりました。そんな尊敬できる先生方とクラスメイトに触発され充実した学生生活を送ることができまし



(修士論文審査会の様子)

た。また、授業という点では、サステイナビリティ学が非常に興味深かったです。持続可能な社会という言葉はみなさんもよく聞かれますが、例えば「日本語教師のキャリアにおける持続性」といったように、改めて自身の関わりのあるフィールドにおいて持続可能な開発とは何かということを実際に学び、考える良い機会となりました。



(日本語の授業の様子)

－大学での研究テーマは何ですか？

修士論文は「日本語教師のキャリア形成とその文脈－ベトナム人の大学非常勤講師 S を対象として－」をテーマに、ベトナム人が日本語教師をするとはどういう意味があるのか、ベトナム人日本語教師がキャリアを形成していく中でどのような環境的な要因が作用するのか、といったことを調査・研究しました。

－現在の仕事と今後について教えてください。

現在は、日越大学の学部日本学プログラム (BJS) で教員として働いています。日本語のクラスは週14コマ担当しており、その他にも、BJS で実施されるセミナーのアレンジや産学連携窓口等も今後担っていく予定です。将来的には、日本語科目だけでなく法律などの専門科目も教えられるようになるために、博士課程への進学を目指しています。

▶ 新たにシビルエンジニアリング、スマート農業とサステナビリティの2つの学部プログラムを開設しました

■シビルエンジニアリング

-Engineer's Program in Civil Engineering (ECE)

学位：Engineer

プログラムの特色：Unlike the training programs in the field of Construction Engineering, the Civil Engineering of Vietnam Japan University has been built on an interdisciplinary basis between the majors of Construction Project Management, Civil and Industrial Construction Engineering, and Construction of Urban Transportation Projects. Along with that is the combination of general and necessary knowledge for the 21st century, which aims to train human resources for domestic and international construction markets with high qualifications and competitiveness in the period of industrial revolution 4.0 and society 5.0.



Prof. Dr. Sc. Nguyen Dinh Duc
(Director of Undergraduate and Postgraduate Academics Affair Department (VNU), Director of ECE and Master's Program in Civil Engineering (MCE) of VJU, Member of VJU School Council)

■スマート農業とサステナビリティ

-Engineer's Program in Smart Agriculture and Sustainability (ESAS)

学位：Engineer

プログラムの特色：本プログラムは、従来の生産性重視の農業から脱却し、経済発展と社会的課題解決の両立を目標としている点に特色があります。幅広い視野と変化に対する対応力を備えた「実践的な人材」の育成を重視している日越大学が掲げるリベラルアーツとサステナビリティという2つの理念の元、①自然環境や生態系への負荷を軽減した農業生態系の構築を目指す「アグロエコロジー」、②AI, IoTなど先端科学技術を活用し農業分野における Society 5.0の実現を目指す「日本式先端農業工学」、③生態系と人間的価値の調和した農業の発展を志向したビジネスの創造と経営を目指す「アグリビジネスの創設と経営」の3分野で構成されています。



安永円理子 専門家
(学部理系分野運営・実施)

人事往来

【着任（2022年10月）】

- ・小池 基：プログラム調整（入試・学務）

■日越大学の情報発信

日越大学ホームページ

<https://vju.ac.vn/en>

日越大学 Facebook

(ベトナム語) <https://www.facebook.com/vnu.vju/>

(日本語) <https://www.facebook.com/VJUjup/>

JICA プロジェクトページ

<https://www.jica.go.jp/project/vietnam/057/index.html>

■お問い合わせ

E-mail: mail.magazine@vju.ac.vn

JICA 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクト（担当：松葉）

【メール配信停止・変更】

配信停止・宛先の変更・追加をご希望の方は、上記問い合わせ先までメールにてご連絡ください。

日越大学 JICA 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクト